

(参考様式)

旧耐震基準の木造住宅の除却における容易な耐震診断調査票

調査日時 : 年 月 日 午前・午後 時

調査者氏名 :

I) 建築物の概要

1. 建築物の所有者 :
2. 建築物所在地 :
3. 階数 :

II) 前提条件の確認(いずれも必須)

チェック欄

木造住宅である	<input type="checkbox"/>
昭和 56 年 5 月 31 日以前に新築の工事に着手した	<input type="checkbox"/>

III) 一見して倒壊の危険性があると判断できる項目

(1以上ある場合は倒壊の危険性があると判断)

建物全体	全体又は一部に崩壊がある	<ul style="list-style-type: none">・建物全体が崩壊・落階している・屋根や外壁の一部が脱落している・柱が折れている・外壁に亀裂や穴が生じている	<input type="checkbox"/>
	全体又は一部に傾斜や変形がある	<ul style="list-style-type: none">・建物全体が傾いている・棟がうねっている・軒先が垂れている・柱や壁が傾いている・床に起伏がある	<input type="checkbox"/>

IV) 壁の割合

一見して倒壊の危険性があると判断できない場合でも、壁の割合が 0.8 未満である場合は、倒壊の危険性があると判断できるものとする。

	(イ)	(ロ)	(ハ)	(ニ)	(ホ)壁の割合
方向	壁の長さ(m)	建面(m ²)	イ/ロ	必要値	ハ/ニ
X					
Y					

IV) 壁の割合 記入用紙

壁の長さの計測

The grid is a 20x20 square grid. In the bottom-left corner, there is a coordinate system with a vertical arrow pointing up labeled 'Y方向' and a horizontal arrow pointing right labeled 'X方向'. A double-headed arrow between the two axes is labeled '1m', indicating the scale of the grid.

(イ) 壁の長さの合計

① X(横)方向

① m

② Y(縦)方向

② m

①②のうち小さいほうを記入してください。

イ m

(ロ) 面積

ロ m²

(ハ) 単位面積あたりの壁の長さ

イ ÷ = ハ

(ニ) 必要な壁の長さ

ニ m

下の表から該当するものを選んで記入してください。

階数	平家	2階建
屋根の種類		
軽い屋根 (鉄板葺・石綿板葺・スレート 葺等)	0.20	0.52
重い屋根 (かや葺・瓦葺等)	0.27	0.59

(ホ) 壁の割合

ハ ÷ = ホ